

## 2. 教員養成に係わる組織及び教員の数、教員養成に係る質の向上に係る取組

<p>①全学組織等の名称</p>
<p>教職課程推進室</p>
<p>②全学組織等の構成員（役職・人数等）</p>
<p>教職課程推進室主任 1 名、同副主任 2 名、他に兼任教員 9 名、事務係 1 名（教務）、を配置している。定例で委員会を開催し、上記教員は教職課程を持つ学科より 12 名が担当している。（教員内訳：生活科学科 7 名、食物栄養学科 2 名、幼児教育学科 2 名、地域創成学科 1 名）</p> <p>なお、教職課程推進室は、大学と短期大学部が協力して運営している。また、教務部との連携にあたっては、推進室担当事務係だけではなく、教務部長 1 名との間で密な連携が図られている。</p>
<p>合計人数： 12 人（但し、教務部長、事務係を除く）</p>
<p>③全学組織等の役割、他組織との関係図等</p>
<p>○ 教職課程推進室においては、教務部との協働による教職課程のカリキュラム立案、免許状更新講習の実施・運営協力、教職課程の業務改善（PDCA）の実施に関する事項、開成の杜教育会（教職卒業生組織）の運営等に関して審議、及び実施している。</p> <p>○ 年度当初に定例委員会を実施し、年間を通じた役割分担と予算案を決定している。</p> <p>○ 教職課程推進室主任並びに副主任、その他推進室担当者は、4 月 1 日付け「学校法人郡山開成学園 運営組織一覧」によって、学園長より任命される。</p> <p>○ 教育実習及び介護等体験の実施にあたっては、教職課程推進室が中心となり、教務部、各学科との連携によって指導、運営が実施されている。</p> <p>○ 年度途中の会議については、学科間で共通する日程設定の困難さから、適宜学内メール会議等を実施している。</p> <p>○ 「教職実践演習（中高）並びに（栄養）」、「教職キャリア・デザインⅠ・Ⅱ」（教職のキャリア形成を目指す本学独自科目）は推進室全体で企画、実施している。</p>
<pre> graph TD     A[学 長] --- B[教務部]     A --- C[教職課程推進室]     B --- D[生活科学科]     B --- E[食物栄養学科]     B --- F[幼児教育学科]     C --- D     C --- E     C --- F     </pre>

#### ④教員養成に係る質の向上に係る取組

- 郡山教育委員会主催の学校ボランティアの実施にあたっては、教職課程履修者へ情報提供し、ボランティア活動への参加を奨励している。
- 教員採用試験の準備については、推進室全体で取り組んでいる本学独自科目である「教職キャリア・デザインⅠ・Ⅱ」に加えて、学科の研究室や実習室を使用して、日常的な教職指導を実施しており、その際にも、教職課程推進室担当教員と学科担当教員による効果的な協働が図られている。
- 教職課程の履修説明会においては、教職課程推進室によって作成された専用教材※によって解説が行われ、説明事項の遺漏防止等、内容の安定化が図られている。(※年度ごとに『教職課程履修者の手引』を編纂)
- 教職実践演習においては、郡山市教育委員会より教育行政官を招き、郡山市における「チーム学校の現在」について、理解を深めている（平成30年度～令和4年度に実施）。
- 教職実践演習（中・高）と教職実践演習（栄養教諭）とでは、必要に応じて合同授業とすることにより、主に家庭科教員と栄養教諭との間での連携する力を培っている。
- 教職課程を履修した卒業生による「開成の杜教育会」を組織している。卒業生間の交流を深めるとともに、現職研修の補完を行い、かつ教職採用情報の収集に努めている。令和4年度より『郡山女子大学教職年報』が編纂され、教育関係の卒業生に対しても、投稿資格が与えられている。
- 教職課程推進室と各学科との連係にあたっては、全学的に実施されているアドバイザー制度（10～30人程度のクラスごとに1～2名の助言教員が配置されており、日常的な学生支援と社会性育成が実施されている）との協働を図ることで、学生ニーズに寄り添った教職指導が可能になっている。
- 令和4年度から編纂された『郡山女子大学教職年報』では、教職員、卒業生を含む学園関係者に広く投稿資格が付与され、研究論文、研究資料の査読及び掲載の他、開成の杜教育会の活動報告であるニュースレター、教職課程推進室の年次活動報告が掲載している。当年報は、郡山女子大学学術リポジトリにより公開されている。